

自然観察会報告
引佐でカタクリとギフチョウの観察会
横山謙二



ギフチョウを見に多くの参加がありました

4月6日、浜松市北区引佐町の枯山でカタクリとギフチョウの観察会を行いました。この観察会は、2007年4月にも行っていて、今回で2回目です。前回の観察会では、ギフチョウが、カタクリの花に吸蜜しているところがよく観察できました。その頃の私は、ギフチョウに関してあまり興味なかったのですが、カタクリにとまるギフチョウの美しい姿に感動しました。今回の観察会では、その美しい姿を写真に撮りたいと思って、はりきって参加しました。また参加した方々も、県内ではあまり見られないギフチョウを見ることを楽しみにしている人が多く、いつもの観察会よりも多くの方が集まりました。

ところが、この日は晴れてはいたのですが、とても寒く、ときおり冷たい強い風が吹く天気、観察会を始めてもギフチョウの姿がまったく見られませんでした。前回の観察会で、あちらこちらでギフチョウが飛び交っていたのがウソのようです。高橋先生の話では、このような日は、ギフチョウはあまり飛ばず、しげみの中でじっとしているそうです。

昼に近くなり、ようやく少し風が弱まると、やっとギフチョウが舞う姿が見られました。しかしその数は少なく、高いところを飛び、なかなか近くに飛来してくれません。

昼食後は、風の少ない山の下の道を散策し



ギフチョウを探しながら歩く



今回の観察会で見られたギフチョウ
(撮影：三宅 隆氏)

ました。私は、ギフチョウをもとめて、道の奥の方に進みました。道沿いには、カタクリの花がきれいに咲き、ときおりギフチョウの幼虫の食草であるカンアオイを観察できました。ただ、かんじんのギフチョウは全く見ることができませんでした。

私は、飛んでいる姿以外、ギフチョウを見ることができなかったのですが、入口周辺で観察をしていた人たちは、羽を広げ止まったところを見ることができたそうです。

今回の観察会では、残念ながら、天候にめぐまれず、ギフチョウをあまり見ることができませんでした。また見に行きたいと思います。